

## PCR検査用ストロー製造 感染リスク下げると注目

シバセ工業

ストロー製造のシバセ工業(株)(浅口市鴨方町六条院中3037、磯田拓也社長、資本金1000万円)は、PCR検査で

だ液を採取する際に使用する医療用ストローの製造を拡大している。

採取する際容器に入れづらく、外部に付着して医療従事者への感染



容器の外にだ液を  
付着させない

を招くリスクを低減。粘度の高いだ液を入れやすいよう口径を1cm程度に太くし、使用後一緒に容器に収めふたができる長さにした。検査キットメーカーによって容器の大きさが異なるため、オーダーメイドで対応している。

だ液を検体に使用してのPCR検査が一般化した8月ごろから徐々に問い合わせが増加し、現在研究機関や病院、医療機器メーカー向けに増産対応している。

同社は「現在も外食産業の不振が続いており、主力の飲料用ストローの需要が縮小する中、チャンスととらえて医療用ストロー市場を開拓していきたい」と話している。